

麦



埼玉親の会「麦」発行

2025年10月25日 164号

E-mail: mugi.saitama89@gmail.com

ホームページ: <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

全体活動

進路例会

発達障害のある子の進路

6/29（土）10:30～12:30 シーノ大宮センタープラザ内さいたま市生涯学習総合センター9F 学習室 1

出席 会員 16名（教育G10名＋家族1名、就労G5名）（うち経験談者2名、他に書面報告1名）

非会員5名 合計22名（資料配布のみ 会員教育G1名）

大宮センタープラザにて満席での開催でした。

発達障害のある子の進路の勉強会には2回目の参加でしたが、新しく知る内容も多く勉強させて頂きました。

「通級指導教室について」「大学入試における合理的配慮が令和6年4月から義務化」「入試の配慮を受けるためには必要な提出書類があること」などは初めて知る知識でした。通級指導教室の増設を麦から要請してくださっているとのこと、心強いです。

3人の方の子育て経験談を聞かせて頂きました。どんな経緯で学校を選択したのか、進路を選択するときのお子さんとのやり取り、そして現在の状況をお聞きすることが出来てとても参考になりました。

参加者の方から不登校の子の受け入れ先についての相談がありました。私の知人にも中学3年間不登校だった子がいます。そのお子さんも不登校中の居場所や進学出来る高校についてとても悩んでいました。今後、不登校に関する勉強会・座談会の開催が望まれているのかなと感じました。

おしゃべり会や勉強会に参加させて頂くと、悩んでいるのは自分だけではないという安心感でいつも心が軽くなります。いつも企画して頂き感謝でいっぱいです、ありがとうございます。（M・M）



発送活動

6月発送 6/29（日） 13:30～14:00 さいたま市生涯学習総合センター 9F 学習室 1

例会終了後、昼食休憩を1時間挟んで、機関紙6月号の封入作業を行いました。機関紙はWEB掲載するので、郵送先はごく一部です。前日の6/28（土）に機関紙印刷も終わらせていたので、作業は理事だけであっという間に終わりました。WEBやメール添付などデータでは読み難く、印刷物をご希望の方には印刷物を郵送いたします。郵送希望の方は、麦事務局までご連絡ください。（H・Y）

全体活動



7月おしゃべり会

7/31（木）さいたま市生涯学習総合センター 7F

参加者 13名 会員6名（教育G1名、就労G4名、賛助会員1名）、非会員7名

小学1年以下と小学2年以上のグループに分けて、おしゃべり会がスタートいたしました。

私は小学1年以下のグループの方に参加いたしました。小学校では普通級か支援級かどちらが良いのか、などの話が中心でした。何を大切に選んだらよいのか？と悩んでいる保護者さんが多いと感じました。今は高等学校も多様な選択肢があり、先々の進路先を踏まえて、親子でよく考えて、お子様の希望も取り入れて選ぶのが良いのでは？とアドバイスをいたしました。

将来の進路先を悩んでいる保護者さんがいるので、就労まで見据えた特別支援の充実を望みます。（A・Y）



全体活動

8月オンラインおしゃべり会



8/23（土）10:00～12:00 Zoom

参加者 会員5名（教育G2名、就労G3名） 非会員1名

Zoomを利用したオンラインでのおしゃべり会に参加しました。

未就学児、小学生の保護者を中心に話が進められ、主に学校での勉強についての悩みや、小学校進学にあたっての心配ごとなどについて話し合いました。こうした問題はすぐに解決策が見つかるわけではありません。ですが親同士で悩み事を共有し、意見交換をする中で、子供との向き合い方を見つめ直すきっかけになればなと思いました。

私は自宅がおしゃべり会の会場までやや遠く、8月の暑い日でもあったので、オンラインで参加できたのは助かりました。Zoomの利用は最初は少し戸惑いましたが、特に問題なく参加することができました。またオンラインでの企画があればぜひ参加してみたいと思います。（M・N）



役員活動



入会相談会

9/10（水）13:00～14:00

さいたま市生涯学習総合センター 9階学習室1

参加者 理事3名 非会員2名

「麦」では、入会を希望されている方のため、入会相談会やおしゃべり会のおためし参加などをお勧めしています。今回は2名の方が参加されました。「麦」の活動内容を説明しながら当会の運営の考え方などを聴いていただいた後、お二人から参加の動機、現在のお悩みなどを伺いました。短い時間でしたが話が弾み、お二人とも入会いただけました。これからよろしくお願いします。（M・K）





令和8年度発達障害関係予算要望事項の作成

「麦」では、毎年埼玉県とさいたま市宛に発達障害の予算要望書を提出する為、会員連絡網やおしゃべり会等で会員から発達障害に関する要望を伺っています。理事による要望書検討会は、5月おしゃべり会終了後と6月機関紙発送後に会場で行われました。その他に Zoom で 5/29（水）6/10（月）7/3（水）に相談検討して、7/11（金）付けで埼玉県とさいたま市に要望書を提出いたしました。

さいたま市には市役所へ要望書を持参して、担当部局へ要望内容を詳しく説明いたしました。回答はさいたま市ホームページへ年度内掲載され、文書でいただきます。埼玉県の場合は、要望の回答を伺いに県庁まで出向き、その回答に対して担当部局へその場で質疑します。ただ要望書回答全てを口頭説明いただくのは難しいので、口頭回答は一部のみで、ほとんどは文書で回答いただいています。

なお、令和7年に提出しても、翌年の行政予算に反映させる要望なので、タイトルは令和8年度発達障害関係予算要望となります。発達障害の施策に関心がある会員は、気軽に理事までご連絡ください。今後とも会員皆様にはご協力の程よろしくお願いいたします。（H・Y）



埼玉県 令和8年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

毎年埼玉県に要望書を提出していますが、今年度も年度初めに、埼玉県福祉部障害者福祉推進課長から9/1（月）に「県との話し合い」を行う旨の通知をいただきました。そこで会員の皆様から意見を募ったうえで検討を重ね、内容は簡潔で明確な文章でまとめることを意識して要望書を作成しました。「麦」要望書は多岐にわたるため、全ての項目について時間内に話し合うことは不可能です。そこで例年埼玉県の要望書は、話し合いの場で口頭説明していただく項目と、文書で回答していただく項目に分けることにしています。予算要望書は7/11（金）に、埼玉県知事宛に提出しました。

9/1（月）の県との話し合い（口頭回答）には、会長と理事3名の計4名が出席しました。当日は担当部署の方から要望書の回答を聞き、発達障害支援施策に対する感謝の意を伝えました。また要望書の内容に関連する質疑応答にも時間を割いていただくことができました。話し合いの場にご出席いただいた担当部署の皆様、文書回答いただいた担当部署の皆様、担当部署に回答を手配いただいた障害者福祉推進課総務・企画・団体担当の皆様、全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も発達障害のある人に、お力添えの程お願いいたします。（M・N）

さいたま市 令和8年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

7/11（金）さいたま市長あてに令和8年度予算要望事項の提出と補足説明のため、障害政策課ノーマライゼーション推進係と教育委員会特別支援教育室へ理事3名が訪問しました。全ての要望について説明をしましたが、共通項目の『「トライアングル」プロジェクトの強化と家庭との情報共有』について両方のご担当者へ、他にノーマライゼーション推進係では、「本人の交流の場の拡充」「頼れる家族がいない発達障害者への支援策の確立」「きょうだいと配偶者への支援」「就労支援機関や企業の方々への発達障害理解の研修の充実」等を、特別支援教育室では「通常学級在籍の発達障害のある児童生徒における ICT 教材とデジタル教科書の活用」「通級指導教室の増設と形態の選択」「発達障害の児童生徒への不登校支援」等を、強く求めました。

なお、10/17（金）に本要望事項の回答をさいたま市から頂きました。さいたま市関係部署の皆様に改めて御礼申し上げます。ご不明な点やその他お問合せは、理事へお願いします。（M・K）

令和8年度発達障害関係予算要望事項に関する回答は下記に掲載しています

埼玉県 ☞ <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2025pref.saitama.pdf>

さいたま市 ☞ <https://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2025city.saitama.pdf>

埼玉県議会公明党議員団との意見交換会



9/19（金）10:00～10:30 埼玉県議会議事堂 4F 会議室

「麦」から理事が3名出席いたしました。公明党議員団は7名出席でした。「麦」では、会則で定めている通り、政治や宗教活動に関わりませんが、議会に対して発達障害の支援要請活動を行うことがございます。埼玉県公明党議員団は、毎年様々な障害団体を招き、県政への要望などを個別に意見交換する場を設けています。「麦」は、県内で活動する障害団体として、毎年意見交換会に招かれています。

今年度の意見交換会は、地方議会の機能（住民の意見を反映し施策をチェック、政策を提案する）を活かしていただくために、埼玉県やさいたま市宛と異なる視点の要望書を作成提出し、発達障害の課題を説明しました。議員団の皆様は熱心に耳を傾けて下さいました。今回は別途、東京都教育委員会資料を持参して埼玉県でも参考にしたいとお願いしてきました。公明党に限らず、発達障害の理解啓発のため、支援の輪を広げたいと思っています。

埼玉県議会公明党議員団の皆様、意見交換会の場を設けていただきありがとうございました。（A・Y）



NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 第18回総会

6/14（土） 12:30～14:00

会場：ベネックス長崎ブリックホール会議室2・会議室3 オンライン：Zoom

所属会数：35、総会出席：会場5、オンライン20、議決権行使書7、委任状3

「麦」は全国LD親の会に所属していますが、全国LD親の会総会が九州の長崎で開催されました。「麦」からは会長Yが全国LD親の会監事として、理事Mが議決権行使者としてオンラインで参加しました。総会の議題は2024年度の事業報告や決算と監査報告、2025年度の理事や評議員などの役員選出について、2025年度の事業計画と予算の説明などで、特に問題になるような議案も無く、満場一致で可決されました。理事長などの挨拶の後に閉会となりました。（M・M）



NPO法人全国LD親の会

研修会「こどもの生き生き人生を応援する～感覚統合の考え方を活かして」

6/14（土）14:30～16:30 ベネックス長崎ブリックホール 会場＋オンライン開催

土田玲子氏（日本感覚統合学会会長、日本LD学会特別支援教育士SV）

今回の研修では、感覚統合の基礎とともに、「子どもの行動の背景にある感覚の特性をどう理解するか」という視点が示されました。感覚の過敏・回避・探求といったズレが、子どもの見え方や感じ方に大きく影響し、それが「わがまま」や「不注意」と誤解されることがあるというお話には、とても共感しました。

感覚の不具合による不安や混乱が、本人にも説明できないまま行動に表れ、周囲とズレが生まれてしまう。だからこそ、「行動」だけを見るのではなく、「感覚」の背景に目を向けることが支援の第一歩になるという視点は、今後の子ども理解において非常に重要だと感じました。

私の娘にも感覚統合の課題があり、感覚を理解してくれる支援者や、環境へのちょっとした配慮があるだけで、日々の過ごしやすさが大きく変わることを実感しています。「感覚を整えることが、行動と心を整えることにつながる」という講師の言葉を胸に、今後も実践と学びをつなげていきたいです。（Y・Y）



発達障害児者のライフステージに応じた専門職の支援と連携 ～作業療法士・言語聴覚士の視点から～

6/15（日）9:40～15:50ベネックス長崎ブリックホール 会場+オンライン
9/10（水）～10/9（木）オンデマンド（基調講演・話題提供）9/14（日）「麦」パブリックビューイング

基調講演「発達障害児者の感覚処理と協調運動の問題への支援」

岩永竜一郎氏（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

感覚の問題により、生活や仕事上では、「音がうるさい」「人混みが耐えられない」「室温や臭い」等で困ることがある。発達性協調運動症では、「不器用や姿勢保持」「整った文字が書けない」等、仕事にも影響を及ぼす。感覚処理や協調運動の問題は、気付かれにくいのが、本人にとって深刻な問題で、周囲の人の理解、日々の生活での支援が重要である。

話題提供 1

「成人期に向けた

自己理解、保護者とのかわり」
赤壁省吾氏（社会福祉法人光会ちきゅうこ保育園園長 言語聴覚士）

自閉スペクトラム症は、自分の将来がイメージできない。好きなことは自分軸を育てる力がある。自己理解を支える上で、周囲に合わせられない事に対して、本人を追い込んではいけません。無理に合わせようとせず、どうすれば自分らしくいられるかを考えてみよう。

話題提供 2

「成人期の

発達障害者への医療・支援」
水野健氏（昭和大学附属烏山病院リハビリテーションセンター作業療法士）

発達障害に気付く事が遅れ、成人になってから受診に至ったことに、親は責任を感じている。本人以上に孤立や不安を抱えている。親子とも自分と同じ経験を持つ集団は安心できる。成人期支援は困った時に SOS を出せる事。

話題提供 3

「就労支援の現場から考える

育みたいスキルとサポート」
加藤芙美氏（社会福祉法人ゆめの樹 作業療法士）

就労から考える育みたいスキルは、自己理解・自己管理・相談。必ずしも障害受容である必要はないが、得意不得意を知り、必要な支援や自立方法を知ること。感情をコントロールして、結果でなく過程を大切にしていける。相談できる人を作り、その人との信頼関係を築くことが大切。

パネルディスカッション

パネラー：話題提供者 3 名 赤壁省吾氏・水野健氏・加藤芙美氏+保護者（長崎発達支援親の会のこのこ）

コーディネーター：基調講演講師 岩永竜一郎氏

話題提供者の他に、地元親の会の保護者 H 氏がパネラーに加わり、参加者から「自己理解ができない場合は？」「支援者の立場で本人との面談スキルは？」「学校内で作業療法士がいるメリットは？」等の質問が挙がった。成人期支援のポイントに対する質問では、赤壁氏「先回りしない」水野氏「本人にとって支援してほしい時と見守ってほしい時の見極め」加藤氏「否定せず自己決定を応援する」保護者「いろいろな人の力を借りる」と答えた。また本人が自覚できない低反応への対応には、岩永氏は「外部に健康管理を依頼」と助言した。個人的に当事者からの切実な質問に、パネラーが丁寧に答えていたことが印象に残った。

「麦」では、公開フォーラムを見逃した正会員対象に、パブリックビューイングを手配し、5 名が視聴されました。パネルディスカッションは、参加者の質問に答える形式だったので、質問者全員からビデオ許可を取ることが難しく、オンデマンドは基調講演と話題提供のみとなりました。

講師やパネラーの皆様、企画準備いただいた「長崎発達支援親の会のこのこ」「全国 LD 親の会」の皆様、どうもありがとうございました。（H・Y）

全国 LD 親の会 合同ブロック会議/関東・東北ブロック会議

7/13 (日) 13:00~14:00 合同ブロック会議 14:00~15:00 関東・東北ブロック会議 Zoom
関東・東北ブロック参加者 全国 LD 親の会理事長・副理事長含め 28 名

関東・東北ブロック 13 団体 (全国 LD 親の会 HP 掲載順)

茨城 LD 等発達障害親の会「星の子」、群馬親子サポートだるまの会～発達障害児者親の会～、埼玉親の会「麦」、千葉発達障害児・者親の会「コスモ」、「にんじん村」、神奈川 LD 等発達障害児・者親の会にじの会、新潟いなほの会-発達障害児者親の会-、新潟 LD 勉強会、山梨 LD・発達障害児者の支援を考える会「いちえ会」、長野県 LD 等発達障害児・者親の会「よつ葉の会」、静岡県 LD 等発達障がい児・者親の会「きんもくせい」、学び方の違う子の親の会ルピナス、り～る

全国 LD 親の会は 5 つのブロックに分かれており、全国情報の共有と近隣の地域会と交流する為、定期的にブロック会議を開催しています。従来は各ブロックで会議を行っていましたが、共通する報告項目はオンラインの機能を活かし、ブロック合同で行うことになりました。「関東・東北」「近畿」「九州」のブロックは 7/13、残りの「北海道」「東海・北陸」は 7/21 に合同ブロック会議を開催し、前半を全国からの共通報告、後半は各ブロックに分かれて、各会報告や情報交換などを行いました。

「麦」が所属する関東・東北ブロックは、新潟 LD 勉強会が加わり 13 団体となりました。当日は欠席団体なし、全国 LD 親の会理事長と副理事長を含めると、関東・東北ブロック参加者は 28 名でした。「麦」からは会長と会計が参加いたしました。簡単に内容をご報告いたします。

＜合同ブロック会議＞ 全国 LD 親の会からの報告

総会、公開フォーラム、組織運営、特別支援教育支援員養成ビデオ講座、研修事業など

＜関東・東北ブロック会議＞

ブロック役員の交替について (新理事・新評議員・新監事→麦会長は監事再任)

各会 (13 団体) からの活動報告 (2025 年 2 月～6 月)

加盟団体増加によりブロック会議当番の変更→ブロック理事と評議員で相談後各会へ連絡。

会員への連絡手段 (公式 LINE の活用について)、正会員と賛助会員の交流など

全国 LD 親の会の情報は、会員連絡網で正会員へお知らせしています。関心があればご参加ください。(H・Y)



学習者用デジタル教科書学習会「デジタル教科書って、なに？国語篇」

9/25 (木) 14:00~15:30 Zoom 13 名

全国 LD 親の会主催の学習会「デジタル教科書って、なに？国語篇」に参加しました。

光村図書・教育出版・東京書籍の 3 社から、国語のデジタル教科書の機能や使い方をご紹介いただき、ふりがな表示や朗読、文字サイズ・配色変更、書き順アニメなど、子どもの学びを支える工夫に触れることができました。次期学習指導要領 (2030 年度以降) では、紙とデジタルの両方が教科書として認められ、支援機能付きのデジタル版も無償給与の対象になる見込みです。読み書きに困難のある子にとって、デジタル教科書は大切な学びのツール。一方で、現場での活用はまだ十分ではなく、保護者が知識を持って声を上げていくことの大切さも感じました。すべての子が自分に合った方法で学べる未来を願っています。(Y・Y)



全国 LD 親の会 オンライン各会役員交流会

8/30（土）19:30～21:30 Zoom 参加者 28 名

交流会テーマ「親の会の運営について」

非営利組織・ボランティア団体のマネージメント/役員及び会員との連絡システム/会報の作成方法、編集知識、技術/ホームページ・SNS の活用方法。注意点、作成方法、ポイント/活動資金の集め方（助成金・補助金・寄付など）/安価で効率的な事務システム/行政の委員会等への参画方法（議題等を会の中で検討報告など）/要望書作成過程や提出方法/自治体等への要望事項/関係他団体との関係（連携や付き合い方）

「麦」が所属する全国 LD 親の会では、偶数月に各地親の会の役員同士が Zoom で交流できる場を設けています。各会、都合のつく役員達が自由に参加し、情報交換しながら活動や運営について話しています。

2025 年度の交流会テーマは「親の会の運営について」で、全国から上記のような課題が提案されました。最初に全国 LD 親の会理事長からテーマの説明があり、それから 6 つのブレイクアウトルームに分かれて話し合いました。私のグループは、長野・岐阜・愛知・新潟・埼玉の役員でした。グループ内では、「参加者が固定化している：開催日や時間の見直し/会場とオンラインの工夫」「役員の選出方法：順番制/複数体制/無理な人の事情を考慮」「会報の発送方法：郵送からメールに変更/WEB 掲載/紙で欲しい人はデータ受け取りを拒否する」等を話し合い、互いに各会の工夫を学びました。親の会の運営工夫は、「麦」理事会でも相談しますが、会員個々の事情が異なるので、遅々として進みません。会員の皆様、何か良いアイデアがございましたら、事務局までお知らせください。今後も、各会と協力しながら親の会の運営問題に取り組んでまいります。（H・Y）



役員活動報告（さいたま市）

令和 7 年度 第 1 回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議

6/20（金）19:00～ 浦和コミュニティセンター多目的ホール（書面参加）

さいたま市では、誰もが共に暮らせる地域社会を目指し、市民が話し合い、意見交換する標記会議を年 3 回開催しています。発達障害に特化した会議でなく、様々な障害関係者が多数参加し、小グループに分かれて討議しています。原則会場参加ですが、会場参加できない場合は、書面参加もできます。今回、私は所用があり会場参加できなかったため、書面参加いたしました。

【テーマ】 ・令和 6 年度障害者総合支援計画の達成状況等について ・施設整備について（新庁舎）

昨年度の障害者支援計画がどの程度達成できたか、さいたま市自身が A～D の 4 段階で評価するのですが、サービスを提供する市側が評価値を決めているので、サービスを受ける市民との間に乖離が生じます。私は、評価基準の見直しと発達障害者への支援計画（療育・教育・就労・家族支援）に対して意見を提出いたしました。

標記会議は、さいたま市在住・在勤・在学者は参加できます。関心のある会員は、さいたま市障害政策課ノーマライゼーション推進係までお問い合わせください。（H・Y）





令和7年度 第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会、第1分科会

会場：さいたま市障害者総合支援センター

さいたま市発達障害者支援センターは、発達障害者への福祉の進展のため、発達障害者支援に携わる様々な機関からの委員による標題協議会を設けており、「麦」も家族会として参画しています。

<第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会協議会 6/30（月）>

初めに、昨年度までの本協議会の活動内容の報告と今年度の予定を伺いました。

次に、各委員が自己紹介を兼ねて、所属する支援機関の役割、支援内容などを説明しました。その説明について、他の委員が質問して理解を深めたり、自身の所属機関とのつながりを確認しあうなどしました。

今年度は、この回の全体会が1回と、3つのテーマで分科会が行われます。

<さいたま市発達障害者支援連絡協議会第1分科会 8/26（火）>

分科会のテーマは「支援者支援」「居場所支援」そして私が参加した第1分科会「親の会の取り組み」です。分科会を前に理事の皆さんに意見を募り、たくさんの意見を伝えることができました。

分科会での議題は2つです。①「親視点からの支援者向け研修講座についての意見交換」では、支援者が受ける研修に対して望むこととして、支援者が発達障害の子育て経験者の話を直接聴く機会を設ける、学習・労働環境でのより深い障害理解と支援手法の習得などを提案しました。②「親及び親の会を取り巻く現状についての情報交換」では、働く母親の増加や家族環境などによる負担感の増大、不登校やひきこもり傾向の子の増加、親亡き後の心配、親の会運営の後継者不足などを話しました。発達障害者支援センターの皆様はとても熱心に耳を傾けてくださいました。貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。今後の発達障害者支援に少しでも活かしていただけることを願います。（M・K）

令和7年度 さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

ワーキンググループ 児童・思春期支援部会



7/22（火）10:00～12:00 さいたま市子ども家庭総合センター多目的室

さいたま市ひきこもり対策連絡協議会は、ひきこもりに対する意見や情報、ひきこもり事業の連絡などを行っています。委員は、ひきこもり支援機関・フリースペース・就労機関・教育機関・家族会等です。ひきこもりの中には、発達障害のある人が相当数含まれることから、「麦」は本協議会に委員として参画しています。本協議会には児童・思春期支援部会と成人期支援部会が設置され、部会では年代別の問題を重点に話し合います。7/22に行われた児童・思春期支援部会の内容は下記の通りです。

- ・各委員の事業報告
- ・令和6年度ひきこもり相談センター事業報告
- ・リレートサポーターについての報告（有償ボランティア、不登校やひきこもり家庭への訪問支援など）
- ・支援者研修について

複雑な社会の中で生きていくには、誰でも躓くことがあります。一人で悩まず、困った時は専門機関へ相談してください。なお、さいたま市では不登校やひきこもりになった人に寄り添い、家庭訪問など支援する有償ボランティアを募集しています。会員のお子さんのごきょうだい（大学生）など心当たりがあれば、麦事務局までお知らせください。（H・Y）





令和7年度 第1回さいたま市障害者政策委員会

7/24(木) 14:00～15:00

会場：さいたま市役所議会棟第7委員会室 オンライン：Zoom

さいたま市では障害者に関する政策の推進についての必要な事項の調査審議などを行うため、障害者政策委員会を設置しています。7/24に第1回委員会が開かれ、今回私はオンラインで参加しました。

第1回委員会の議題は以下の4つでした。

① 障害者総合支援計画の実施状況について

障害者総合支援計画は令和6年度から8年度の3年間を計画期間とし、4つの基本目標、104事業により構成される行政計画として、令和6年2月に策定されました。各事業の実績については各年度終了後に、市が各年度目標に対する達成状況の評価を行い、障害者政策委員会に報告をすることとされています。今回は令和6年度の各事業の評価結果やさいたま市の取り組みなどについて説明がありました。

② 誰もが共に暮らすための市民会議の報告について

施設整備によりバリアフリーを進めることや、災害時の避難所において要配慮者のためのスペースを確保する取り組みなどの説明に興味を持ちました。

③ 次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査について

令和7年10月に行われる、障害福祉に関する当事者や事業所へのアンケート項目については、5月のワーキンググループで各委員から様々な意見が寄せられましたが、それらの意見と回答をまとめ、配布するアンケートが作成されました。また、今回からオンライン回答も出来るようになりました。

アンケートはすでに配布されており、締切りは10月31日（金）です。アンケートを受け取られた方は、ご協力をよろしくお願いします。

④ 障害者支援地域協議会で挙げられた課題の共有について

防災や災害対策、人材不足や人材育成の課題、障害福祉サービスや専門的支援の不足、家族依存や親なき後の支援、成年後見人制度についてなど、いろいろな課題が指摘されており、対策が必要とされています。

普段ほとんど接する機会のない他の障害者団体や事業所の方々のお話を伺うことができ、いろいろと気付かされるのがあって、勉強になりました。(M・M)



令和7年度 第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会

9/2(火) 15:00～17:00 Zoom

さいたま市発達障害者支援地域協議会では、発達障害の関係者等が相互の連絡を図ることにより、さいたま市における発達障害者の支援体制に関する課題について情報を共有しています。連携の緊密化を図るとともに、さいたま市の実情に応じた体制の整備について協議しており、「麦」も家族会の立場で委員を委嘱されています。

初めに「令和6年度発達障害児者及び家族等支援事業について」として、ペアレントメンター事業の報告がありました。この事業は埼玉県と共同で行われています。ペアレントメンターによる講座を会場またはオンラインで年9回実施したり、ペアレントメンター養成講座、ペアレントメンターフォローアップ講座なども行われました。また、発達障害者支援センターへの相談件数（大きな増減なし）や、発達障害者本人向け・家族向け・支援者向けの講座、発達障害者地域支援マネジャーの配置による地域支援体制の強化などの報告がありました。

他に、学びの多様化学校「いろどり学園」について説明をいただきました。不登校の小中学生の希望者を対象に、令和8年4月開校を目指し、すでに生徒の募集も行われました。

参考：<https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/001/p117896.html>（学びの多様化学校の紹介）

更に、5歳児健康診査についてです。健診は対象年齢の子から抽出し、集団健診で行う方針です。抽出の方法や、フォローアップ体制の構築等難しい課題が多くあり、来年度中の実施に向けて検討が続けられているということです。(M・K)



埼玉県立総合教育センター主催 令和 7 年度 特別支援学校 5 年経験者研修

「保護者の心情に配慮した支援の在り方」

7/28（月）13:00～ オンライン Teams（7/22 担当者と事前打ち合わせ）

埼玉県立総合教育センター主催で令和 7 年度特別支援学校 5 年経験者研修がオンラインで開催されました。

対象者は、埼玉県公立特別支援学校の教職経験 5 年目の教師。「麦」会長が講師として「保護者の心情に配慮した支援の在り方」をお話しさせて頂きました。障害全般を対象にして、「障害児の子育て」「保護者の心情理解」「相談ポイント」「学校に求めたい配慮」「合理的配慮」等をお話しいたしました。また先生方には、ワークとして担任のいじめ対策に不満を持つ保護者からのクレームについても、考えていただきました。学校と家庭がこじれないように、初期対応には注意が必要です。互いに歩み寄り、納得できる着地点を見つけてほしいものです。

センターの皆様、研修に参加された皆様、当日はお世話になりました。このような機会を頂けたことに、感謝申し上げます。参加された皆様がそれぞれの現場でご活躍されますことを、心からお祈りしております（H・Y）



埼玉県 不登校の子供を支えるためのセミナー 個別相談会

8/31（日）13:00～15:30

ソニックシティビル 4F 市民ホール

埼玉県教育委員会により、保護者と教員を対象に「不登校の子供を支えるためのセミナー」が開催され、講演会やパネルディスカッション以外にも、保護者の会、フリースクール等の民間団体、県立学校などがブースを設置して、個別相談会や情報提供などを行いました。「麦」は会長と理事 2 名で参加しました。不登校の悩み等を 1 組 15 分程度の個別相談で何う一方で、個別相談までは希望しなくても「麦」には興味があり説明を聞きたいという保護者の方達もいました。「麦」へ興味を持って下さる方々の存在を嬉しく思い、今後もこのような行事に参加できれば良いと思いました。（M・M）



座談会「子どもの心理検査の結果がどのように活かされているか」

8/5（火）13:00～14:30

チエノワベース 2 階

朝霞市の本屋チエノワベースで開催された、お子さんが知能検査や発達検査を受けたことのある保護者を対象とした座談会に出席しました。座談会は、「麦」の賛助会員でもある K さんが主催で、「子どもの心理検査の結果がどのように活かされているか」をテーマとしていました。私は心理検査や発達検査についてよく知らないままだと感じておりましたので、参加を決めました。

出席者は小中学生の保護者の方がほとんどで、お子さんの進路の選択にお悩みを持つ方、検査結果を活用した支援を受けることの出来た経験を持つ方などがいて、さまざまなお話やアドバイスがされました。現在は検査結果を子どもの支援につなげる体制が整ってきているそうです。発達障害に対する理解がようやく社会の中に広がり始めた頃に子育てを始めた私は、検査の仕方や結果の扱いに疑問や不満を持った経験があるため、現在の支援体制の充実に驚くとともに、嬉しくも思いました。座談会は「麦」の企画ではありませんでしたが、心理検査がどのように活用されているのかについて、最近の状況を知ることができ、興味深く思いました。（M・M）

「麦」活動報告（機関紙 2025 年 6 月 163 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- ・全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
 - 6/29（日） 進路例会「発達障害のある子の進路」 一般参加可（非会員有料） 会場開催
6/26（木）配布資料事前印刷
 - 7/31（木） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 会場開催
 - 8/23（土） おしゃべり会 入会希望者お試し参加可 オンライン
 - 9/10（金） 施設見学会→延期
 - 9/14（日） 第 24 回公開フォーラム オンデマンド パブリックビューイング 会場開催

<理事活動>

- ・理事会（活動報告、計画、相談、情報交換等） 全て Zoom
 - 6/19（木）7/25（金）8/18（月）9/5（金） 全体例会、LINE 活用、経費相談など
- ・機関紙発行および各種発送に関する活動
 - 6/29（日） 機関紙 163 号発行、WEB 掲載 機関紙及び配布チラシ等印刷、関係先に発送
- ・ホームページの更新
 - 6/9（月）6/29（日）8/10（日）9/3（水）
- ・要望書提出に関する活動
 - 要望書検討会：会場開催 5/31（土）例会終了後、6/29（日）機関紙発送終了後
Zoom 開催 5/29（水）6/10（月）7/3（水）
 - 7/11（金） 埼玉県とさいたま市へ要望書提出 さいたま市担当部局へ要望内容説明
 - 9/1（月） 埼玉県要望書口頭回答 埼玉県担当部局と口頭回答に対する質疑
 - 9/19（金） 埼玉県議会公明党議員団 要望書提出と意見交換会
- ・行政関連の行事
 - 6/20（金） 令和 7 年度第 1 回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議（書面参加）
 - 6/30（月） 令和 7 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
 - 7/22（火） 令和 7 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会 児童・思春期支援部会（会場開催）
 - 7/24（木） 令和 7 年度第 1 回さいたま市障害者政策委員会（ハイブリット・Zoom 参加）
 - 7/28（月） 埼玉県立総合教育センター主催 令和 7 年度特別支援教育 5 年次研修講師派遣（Zoom）
 - 8/26（火） 令和 7 年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会分科会（会場開催）
 - 8/31（日） 埼玉県教育委員会主催「不登校の子供を支えるセミナー」個別相談会（会場開催）
 - 9/2（火） 令和 7 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
- ・その他の理事活動
 - 6/22（日） 業者から遮音具調査依頼 会員アンケート実施 6/30（月）結果報告
 - 8/5（火） Bookstore で座談会「子どもの心理検査の結果がどのように活かされているか？」
 - 9/10（金） 入会相談会

<全国 LD 親の会の行事>

- 6/14（土） 全国 LD 親の会総会&研修会（ハイブリット開催）「麦」は Zoom 参加
- 6/15（日） 第 24 回公開フォーラム（ハイブリット開催）「麦」は Zoom 参加
- 7/13（日） 合同ブロック会議／関東・東北ブロック会議（Zoom）
- 8/30（土） 各地域役員交流会（Zoom）
- 9/25（木） 学習者用デジタル教科書勉強会（Zoom）

講演会

主催 埼玉親の会「麦」 後援 NPO 法人全国 LD 親の会

会場
オンライン

発達障害のある人の不登校ひきこもり ～特性に配慮したサポートと未然防止策～

発達障害のある人が不登校やひきこもりになるケースは少なくありません。原因は様々ですが、発達障害の特性が、社会生活への適応を難しくさせる背景があるからです。発達特性から生じる本人の苦痛が軽視されると、不登校やひきこもりが深刻化します。まず発達障害の特性を理解し、環境を整え、適切なサポートを提供することが望めます。本講演会では、特性に配慮した不登校ひきこもりへのサポートと未然に防ぐための注意点を学びます。

日時 11月22日(土) 13:30～15:30 (受付 13:10～)

講師 喜多見 学氏 NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表

株式会社こうゆう執行役員 東京公認心理師協会理事

発達障害、不登校やひきこもり、家族支援等の相談、カウンセリングや心理療法などを提供

会場 浦和コミュニティセンター IT 研修室 または オンライン

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F (浦和パルコ内)

TEL 048-887-6565 有料駐車場あり JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前

参加費 一般/非会員 500 円 (資料代として) 会場参加者は当日受付でお支払いください。

オンライン参加者は受付完了メールに掲載するゆうちょ口座へ事前振込みをお願いします。

「麦」会員 (正会員・賛助・法人) / 全国 LD 親の会会員 無料

申込先 埼玉親の会「麦」WEB フォーム

<https://forms.gle/KUZXTgxYLx214Wn19>

メール mugi.saitama89@gmail.com TEL 080-4125-6020



定員

会場 20 名 オンライン 50 名
定員になり次第、締め切ります

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD (学習障害)、ADHD (注意欠陥多動性障害)、
ASD (自閉スペクトラム症) の知的に大きな遅れの
ない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されていま
す。「麦」は子どもたちが周囲に理解されて、自立した
豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989 年発足。

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



11月15日(土) までに、WEB フォーム・メール・電話のい
ずれかでお申し込みください。WEB フォームとメール申込者
には、3 日以内に mugi.saitama89@gmail.com から受付完了メ
ールが届きます。届かない時は、迷惑メールをチェックいた
だき、それでも届いていない時は 080-4125-6020 へ電話をお
願いします。オンライン参加者には、受付完了メールに Zoom
接続先や参加費振込方法 (非会員) など詳細を連絡します。
参加者の情報は、運営と緊急連絡等以外に使用いたしません。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任
せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」主催

発達障害の子を持つ保護者おしゃべり会

お子さんへの接し方や今後の生活に不安を感じていませんか？
同じような立場の仲間同士で、
悩みを話してみましょう。
保護者以外のご家族の方も参加
できます。

麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会希望者のお試し参加を受け付けます。**参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡ください。
皆様の参加をお待ちしております。

日 時 12月13日（土）13:30～15:30 受付 13:15～

会 場 浦和コミュニティセンター IT研修室 または オンライン
さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F（浦和パルコ内）

TEL 048-887-6565 有料駐車場あり

JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前

定 員 20 名（会場 15 名＋オンライン 5 名）

先着順 定員になり次第締切

参加費
無料



申込先 埼玉親の会「麦」 WEB フォーム

<https://forms.gle/jfoJeqCF464cCUer5>

メール mugisaitama89@gmail.com TEL 080-4125-6020

12月6日（土）までに、WEB フォーム・メール・電話のいずれか
でお申し込みください。WEB フォームとメール申込者には、3 日
以内に mugisaitama89@gmail.com から受付完了メールが届き
ます。届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いて
いない時は 080-4125-6020 へ電話をお願いします。オンライン
参加者には、受付完了メールに Zoom 接続先を連絡します。
参加者の情報は、運営と緊急連絡等以外に使用いたしません。
☆保育は行っていません。

お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉症スペクトラム）等の知的に大きな遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。

「麦」は子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989 年発足。

<https://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



❁ 11 月 講演会『発達障害のある人の不登校ひきこもり ～特性に配慮したサポートと未然防止策～』

講師：喜多見 学氏（NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表）

日時：11 月 22 日（土）13:30～15:30（受付 13:10～）

場所：浦和コミュニティセンター I T 研修室 またはオンライン（Zoom）

定員：会場 20 名 オンライン 50 名

参加費：「麦」会員は無料 一般 500 円

※詳細はチラシ（12 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

❁ 12 月 保護者&家族おしゃべり会

日時：12 月 13 日（土）13:30～15:30（受付 13:15～）

場所：浦和コミュニティセンター I T 研修室 またはオンライン（Zoom）

定員：20 名（会場 15 名+オンライン 5 名） 参加費無料 入会希望者のお試し参加可

※詳細はチラシ（13 ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

❁ 1 月就労勉強会（9/10 施設見学会は延期、こちらの勉強会になりました）

埼玉障害者職業センターから講師をお招きして勉強会を行います。

日時：1 月 22 日（木）午前

内容：発達障害者の職業準備訓練やリワーク、施設紹介など

方法：オンライン+浦和コミュニティセンター I T 研修室パブリックビューイング

自宅等での視聴が難しい方は、会場から視聴できます。

※詳細は、決まり次第お知らせします。



◆申し込み チラシ掲載の WEB フォームからお願いします。

WEB フォームから申し込みできない時は <mugi.saitama89@gmail.com> へご連絡ください。

❁ 理事会（Zoom）のお知らせ

11 月 14 日（金）、12 月 11 日（木）、1 月 15 日（木） どちらも 9:15～（遅刻早退可能）

理事会は、理事だけでなく正会員なら誰でも参加できます。理事会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。 mugi.saitama89@gmail.com

*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。



編集後記



長い夏が終わり、短い秋を楽しんでいます。イベントの多い季節ですが、子どもが大きくなる
といっしょに出かけることもなくなり、少し寂しいですね。年が明けるとついに我が子の受験
が始まります。これまでで一番緊張感のある年末年始になりそうです。（M・N）

10 月に入ってからようやく秋になり、地域や学校などではイベントが多い季節で、行楽
日和となります。我が子とは一緒に出かけることが少なくなりましたが、我が町では関東
最大のお祭りがあったり、年末年始も出かけたりして親子で楽しみたいです。（A・Y）

機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙 10 月号に原稿をお寄せいただきありがとうございました。
これからも麦の活動にご協力をお願いいたします。 <機関紙担当一同>

